

あ と が き

昨年度より取り組んできました本校の校内研究は、甲府市教育委員会「甲府の子どもの教育総合推進校」の指定を受け、「子どもと向き合う時間を確保し、学びの質を向上させていく教育課程の在り方 ～学校と子どもの実態に即したカリキュラム・マネジメントの実践的研究を通して～」を研究主題としてスタートしました。

喫緊の課題である本校の研究テーマは、学習指導要領が改訂され、「学習内容が増す中での業務のスリム化」「子どもと向き合う時間を確保し、学習の質を向上させる」という大変難しい問題でありました。しかし、大変やりがいのある課題でもありましたので、全職員一丸となって研究を進めてきました。研究を進めるにあたっては、これまでの学校の「当然」を見直すことが必要になるため、手探りでやってきたというのが実情です。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響も大きく、校内研究会・先進校視察等も、いつも通りに行うことはできませんでした。しかし、昨年度の研究を基に時間を生み出す方法を整理し、「午前5時間制」の実施に向けて再考したり、短時間学習「たまなび」の時間を創設したりと、無理なく実践できるよう話し合いを進めてきました。

またコロナ禍の中、様々な困難はありましたが、研究指定最終年度に、甲府市教育委員会の皆様をはじめ、各学校の代表の皆様にもお集まりいただき、拡大校内研究会を開催する運びとなりました。ご参加いただいた皆様方からアドバイスをいただく機会を得られましたこと、感謝の念に堪えません。実際に取り組んでいる側には見えなくなっていた部分もありましたので、忌憚のないご意見をいただけたことは、2年間の研究のさらなる躍進となりました。

この2年間の研究を通して、「子どもと向き合う時間の確保」はもちろん、「学びの質の向上」につながったと自負しております。本校の職員の日々の努力に感謝と敬意を表し、研究のまとめとさせていただきます。

最後になりましたが、これまでに貴重なご指導、ご支援をいただきました関係機関の皆様に、心から感謝申し上げます。本校の研究が、今後何かしらのヒントとなり、甲府市の子どもたちのために時間を生み出す一助となりましたら幸いです。

教頭 藤原 裕一